

セカンドオピニオンについて その2 がん患者さんへ

セカンドオピニオンを受ける医師や病院の選び方

近年、がん医療を行っている病院では「セカンドオピニオン外来」を設置しているところが増えてきています。岡崎市民病院は、がん診療連携拠点病院ですので、「がん相談支援センター」があり、そこで、セカンドオピニオン外来を行っている地域の病院や、専門領域などをお伝えできます。このほか、「手術を勧められているけれども、放射線治療を検討したい」といった、具体的な治療方法に関する希望がある場合には、がんの放射線治療を専門とする医師にセカンドオピニオンを受けるという方法もあります。

セカンドオピニオンを受けた後は

セカンドオピニオンを受けたら、病気や治療方針についてのご自身の考えが変化したかどうか、もう一度現在の担当医に報告した上で、これからの治療法について再度相談しましょう。セカンドオピニオンに対する担当医の意見を聞くことで、治療への理解がより深まり、納得する治療を選択することができるようになります。

また、セカンドオピニオンの結果、セカンドオピニオン先の病院で治療を受けることになった場合には、あらためてこれまでの治療内容や経過などを紹介状などで引き継ぐのが一般的です。治療はセカンドオピニオン先の病院で行い、紹介元医療機関では治療後の経過観察を行う場合もあります。そのため、紹介元の担当医はあなたの治療を支援してくれる、身近な医療者の1人であることに変わりありません。

以下参考サイト

「患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版」(編著：国立がん研究センターがん対策情報センター発行：学研メディカル秀潤者)

「患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版」(国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービス

https://ganjoho.jp/public/qa_links/book/public/hikkei02.html

セカンドオピニオン、紹介状Q & A

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/dia_tre_diagnosis/second_opinion.html

国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービスより